

銀漢亭日録



伊藤伊那男

10月30日(火)

▼「銀漢」十二月号の原稿全部終了。店「某るバカの会」というよく解らぬ会。敦子幹事。一平、真砂年、朝比古、肖子、うさぎ、相子智恵、峯尾文世：十五人。句会も。「雛句会」五人。赤羽さん久々。

11月1日(木)

▼発行所「十六夜句会」杉阪さんゲスト。終つて十二人店。「天為」内村恭子さん誕生日。青柳フエイさん米国より来たとして天為勢六名ほど。神村君三人。

2日(金)

▼三か月に一度の主宰句会、水内慶太、小山徳夫、藤田直子、井上弘美、檜山哲彦、木暮陶句郎さん。発行所「大倉句会」終つて四人。池田のりを、洋酔さん。「青垣」の今村恵子さん二人。「秋」佐怒賀正美さん。竹内宗一郎さん、青柳フエイさん(明日米国へ戻ると)など。幼馴染の木下操君訪ねてくれる。忘れていた思い出話聞く。

3日(土)

▼十時、発行所にて運営委員会。十三時、ひまわり館にて「本部句会」。岐阜の堀江美州さん来京。四十六人。あと「和民」にて親睦会。あと渋谷に出て買物。浅酌のつもりが深酌に。

4日(日)

▼九時、整体。あと床屋。クリーニング店。日用品買物など。モスバーガーに初めて入る。小文、礼状、アンケート回答、校正など雑務。十五時、成城。携帯電話機不調にて交換手続。桃子家にて桃子誕生会。杏家も揃い、博多黄金屋のモツ鍋。水炊き。あと雑炊。

5日(月)

▼発行所「かさ、ぎ」勉強会。鷹羽狩行についてと。終つて十人店。あとは不入り。杏、急性盲腸炎か？入院と。昨日一緒に飲んでいたのに……

7日(水)

▼清人さん「戻り鰯の会」十五人。烏賊も十杯焼く。発行所「さざぎ句会」あと六人。ひまわり館にて「宙句会」あと六人。大学茶道会の栢田先輩、奥様と。久々繁忙。

8日(木)

▼平成俳壇(一月号)発送。工藤千代さん、越後の新米、食用菊の花を届けてくれる。徳永さんアイレックスの社長、久治米さんと。

9日(金)

▼安藤さん清掃に入る。「雲の峰」総会の講演資料作成、礼状その他。店、松山さん。銀漢弁当部。駒ヶ根市の先輩今井康之さん東大新聞研究所の桂誠一先生と。二人とも銀漢「十一月号を買っていただく。今井さんは中卒で岩波書店に入社した方。私の生家の隣家で親類の憲法学者芦部信喜の「芦部憲法」は今も年間数千部出るロングセラーである。私の父は一切金の請求をしない医者で戦後の貧乏な時代にどれだけ町の人から慕われていたことかと。嬉しい話を聞く。

10日(土)

▼六時起床。「雲の峰」年次総会のため京都へ。丁度、妻の従姉妹で京都造形大学教授・画家の今井悦子の展覧会が今日、最終日というので、イムラ・アートギャラリーに寄り歓談。一時、会場の西陣織会館に。「芭蕉の出自」という題で三十分程話す。京都シテイホテルにて十七時より宴会。二次会あり。二十三時寝る。

11日(日)

▼八時半、バス二台で出発。北野天満宮。深泥池は雨の中で竹門康弘京都大学准教授よりレクチャー受ける。保護、育成の努力に頭が下がる。鷹ヶ峰の「しようざんり조트」わかにどりにて昼食。雨中、常照寺、源光庵などを巡る。京都駅にて解散。悦子さんとうぐじ、ずいき煮、こべなど酒。くつろぐ。最終の新幹線に飛び乗る。

13日(火)

▼持つて行くのを忘れた「雲の峰」への特選短冊書く。新同

14日(水)

▼環さん五人。大西グループ十数名。一平さん、有史さん：盛況。大野田好記さん、大連土産の紹興酒十年もの。ロシヤ製携帯酒入れ。伊那の小池百人さんからボジョレーヌーボー六本着。

15日(木)

▼「雲の峰」吟行会、五句出し句会の選、返送。店、岩波書店のOB今井さん、同郷の竹内さんと。この方も私の生家から百米位の所で育っており、やはり中学卒から岩波へ入社した方。父の患者だったと。当時の駒ヶ根市の様子など懐かしく話す。ひまわり館にて「銀漢句会」。終つて二十一人来店。ボジョレーヌーボー解禁日。

16日(金)

▼発行所「野村句会」終つて六人店。一般のお客多し。

17日(土)

▼午前中整体。十五時、成城。桃子の家。杏一家も。ボジョレーヌーボー、シャンペンで乾杯。牡蠣、からすみ、スモークサーモン、豆乳鍋。宮澤はハワイ行きで途中退席。十九時過に酔ってソファで寝てしまい、そのままお泊り。

18日(日)

▼かれこれ十二時間寝たか。杏一家も泊り。朝風呂、朝食ゆつくり。帰宅して選句。角川の「俳句」一月号、福井隆子句集「手毬唄」の一句鑑賞送る。年賀状の文案作り、杏に構成を託す。

19日(月)

▼店、今井聖、竹内宗一郎さん(「街」主宰と編集長。本日、「二の酉前夜」いづみ、展枝、真一、凌雲が店の熊手を花園神社に納め、新しい熊手に替えてきてくれる。二十二時半、店閉めてそのメンバーと餃子屋。

20日(火)

▼何と二十時近くまで客ゼロ。昨日、千客万来の熊手飾つ

たのに！悦子さん、対馬さん(日本女子大の同窓)、小滝さん。驚神社の二の酉帰りの洋酔、展枝さん寄つてくれる。私の地元の小泉さん。帰路、洋酔さんに花園神社のお西さんに誘われるがこの人とだと何時になるか解らない。原稿押せ押せ状態にて断る。

21日(水)

▼「三水会」(高校同期)七人。広渡敬雄氏、会社先輩と。「読む会」(真砂年、一平、うさぎ、麒麟さん)。発行所「はてな句会」終つて四人(阪西敦子、相沢文子、後藤章、木村定生さん)。「天為」編集部など。昨夜と打つて変わって盛況。

22日(木)

▼十時、清澄白河駅、四十六人。「銀漢本部吟行会」。雨中の清澄庭園を散策。芭蕉稲荷を巡り芭蕉記念館へ。昼食は洋酔さん等とトンカツ。ビールうまし！句会前三十分程、芭蕉の出自について講話。十七時より門前仲町の「庄屋」にて打上げ三十五名程か。

24日(土)

▼九時半、シネマート新宿で指揮者小林研一郎の映画「天心の譜」観る。皆川文弘さんより頂いた券。帰宅してずっと原稿執筆。

25日(日)

▼バラに混合ワクチン接種。ずっと原稿執筆。歳暮手配。銀漢賞の選句に入る。この二日間、酒飲みます。

26日(月)

▼発行所、十二月号発送作業。店、「湯島句会」出句者百数十名、出席者二十七人。

27日(火)

▼西村麒麟さん、姫路在住の川柳作家の樋口由紀子さんと。閑散。右隣の焼肉「牛王」が閉めた後にワインとパスタの店、金曜日開店の模様。左隣の「福の木」が閉めた後の魚料理店は開店からかれこれ一カ月か。閑散。

30日(金)

▼安藤さん掃除に入る。俳句年鑑の句他。洋酔塾記念集へ文章。バラ洗う。店、エッセイストの坂崎重盛さん三人。「雛句会」五人。発行所「金星句会」終つて七人店。